

技術・家庭科

【研究主題】

多様な関わりから、社会を見つめ、よりよい生活をつくり出す生徒の育成

【研究副主題】

社会や生活と自分のつながりを「見える化」する学習の展開

公開授業

学級：3年2組 授業者：守屋 幹子



共に生きる社会を目指して～追究！幼児とのよりよい関わり方～

本校技術・家庭科では、社会や生活と自分のつながりをより確かなものにするために、各分野の学習内容を関連づけて、社会や生活における統合的な問題を解決する題材を計画しています。

本題材では、“**幼児との関わり方に関する課題解決**”を御提案いたします。

事前調査で本校生徒は、幼児と関わる機会が少ないため、「幼児の考えていることが分からない」「接することが難しい」という印象を抱いていることが明らかになりました。幼児に関する先入観や抵抗感を少しでも取り除き、幼児の健やかな成長を支える一員として、幼児と触れ合うことの楽しさやよさを実感できるようにしたいと考えています。

今回の家庭分野の公開授業では、課題解決に向けて、「幼児の心身の発達」「幼児の生活と遊び」を踏まえ、幼児に応じた適切な関わり方を考えさせるとともに、他者と協力・協働する楽しさや喜びを味わわせたいと考えています。今後、これらの学習内容を基に、「幼児のおもちゃ製作」につなげ、技術分野・家庭分野の学習内容を関連づけた統合的な問題解決学習に取り組んでいきます。

当日は、既習知識を生かして、これからの学習への見通しを持ち、課題の解決に主体的に取り組もうとする生徒たちの姿を御覧いただくと幸いです。

メタ認知との関わり

幼児と触れ合う活動における幼児との関わり方についての課題を解決するために、メタ認知的知識「**自分の生活経験や既習内容と結びつけながら考える**」を基にした活動を促します。また、自他の考えを共有する場面を設定することで、課題解決の過程で必要な協力・協働を引き出し、幼児とのよりよい関わりを目指して調整する機会を創出します。

詳細はこちら

長崎大学教育学部附属中学校教育研究協議会

令和6年6月19日（水） 13:20 ～ 16:45

